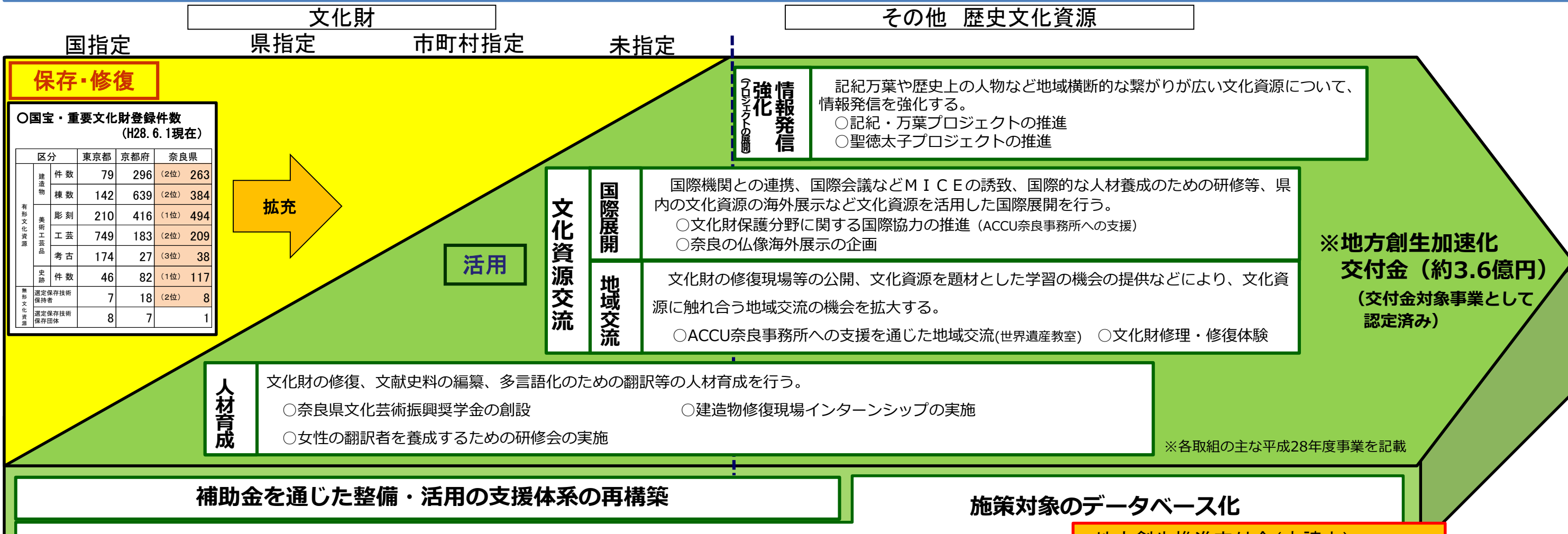


歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点づくりプロジェクト

- 本県は、国指定文化財件数が全国第3位であり、3つの世界遺産を有しているなど、「文化財」の宝庫。文化財の「保存・修復」について、市町村指定以下の「文化財」も対象となるよう支援を拡充。
- 加えて、昨年4月、地域振興部に文化資源活用課を創設。「文化財」の「保存・修復」のみならず、施策の対象を古事記・日本書紀・万葉集を始めとする文献資料、歴史上の人物及びそれらに基づく伝承・旧跡など「歴史文化資源」全般に広げ、その「活用」施策を展開しているところ。
- ①「文化財」の「保存・修復」と②「文化財」を含む「歴史文化資源」の「活用」に係る施策を総合的・一体的に展開する拠点として、奈良県版の国際芸術家村を整備。その際、官民協働、地域間連携、政策間連携を図る。



- **文化財を含む歴史文化資源の修復・活用の拠点**
 - ・県文化財保存事務所等の移転及び選定保存技術保存団体等の誘致
 - ・記紀・万葉プロジェクトをはじめとするプロジェクトの展開
- **文化資源交流の拠点**
 - ・ACCUとの連携による国際会議などMICEの誘致、国際的な人材養成研修
 - ・学術会議、フォーラム、シンポジウム等、大学等のセミナーハウスとしての活用
 - ・文化財の修復現場の公開など地域住民や来訪者が歴史文化資源と触れ合う学習・体験・研究の場の提供
- **人材育成の拠点**
 - ・文化財修復技術の伝承、翻刻者・翻訳者の養成など

- **官民協働**
管理・運営等の検討のため、官民の関係者で構成する協議会を設置
- **地域間連携**
候補地自治体 (天理市) との連携 (市埋蔵文化財センターの移転、芸術フェスタの開催)
- **政策間連携**
まちづくり、産業 (農業、伝統工芸)、観光、福祉、教育等との連携
- **必要な施設**
文化財修復施設、人材育成・教育研究施設、セミナー・講座室、長期滞在・合宿施設、展示即売所、レストラン・宿泊施設、農産物直売所・加工所、道の駅・駐車場、サイクルステーション



拠点施設を活用した良質なイベント等の充実

将来的には文化・芸術振興の総合的な拠点へ

(仮称)奈良県国際芸術家村における必要施設の機能(案)について

平成28年11月9日
奈良県国際芸術家村構想等検討委員会

- (仮称)国際芸術家村において、歴史文化資源の修復・活用、文化資源交流、人材育成の拠点づくりに当たっては、観光(周遊観光等)、産業(農業、伝統工芸)、まちづくり(道の駅)など幅広い分野への波及を視野に政策間連携を図りながら、地域経済における好循環の実現を目指す。
- 上記の拠点化等を図るために必要な施設と機能、規模について、現段階では他府県の類似施設等を参考に以下のとおり検討。
- 今後、実施設計等を経て規模等の詳細を決定予定。

施設名称	機能(案)	規模(案)
①文化財修復・展示棟	<ul style="list-style-type: none"> ・県文化財保存事務所、天理市文化財課の移転、選定保存技術保存団体等を誘致することにより、伝統技術の継承と後継者を育成。 ・文化財修復作業の公開・解説や仏像等のハンズオン展示、埋蔵文化財発掘体験のコーディネートなど県民や来訪者が歴史文化資源に触れ合う機会を提供。 	約10,000㎡程度
②複合棟	<ul style="list-style-type: none"> ・ACCUとの連携による国際会議などMICEの誘致、国際的な人材養成研修を展開。 ・歴史文化資源を題材にした学術会議、フォーラム、シンポジウム等を開催。 ・天理市と連携し、文化・芸術の創作活動や関連イベントを開催。 	
③情報提供施設 (道の駅)、トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の利用者に歴史文化資源の魅力に触れてもらえるよう、周辺地域等の観光案内や地域の特産品の紹介などを実施。 ・(仮称)国際芸術家村を県内各地への歴史文化資源の周遊観光などの活動拠点として活用。 	
④農村交流施設	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所において新鮮な野菜や特産品の販売により地域の活性化を促進。 ・農産物の加工所において地元産品を活用した手作り加工品を製造・販売。 ・農家レストランにおいて奈良の食材を活かした「食」の創造と発信。 ・「食」と「農」の魅力を活用した伝統食品の加工講習や郷土料理教室などを実施するためイベント・体験スペースを設置。 	
⑤伝統工芸施設	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品の展示即売と新たな創作活動につながる様々な企画展示を実施。 ・体験型ワークショップや製作実演・体験を実施。 	
⑥サイクルステーション	<ul style="list-style-type: none"> ・天理市内に整備予定の農村周遊自転車ルートと連結。自転車による新たな人の流れに対応。 	
⑦屋外体験施設	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前から小学生のこどもを対象にした発掘体験や遺跡を模したアスレチック場等を設置。郷土教育や家族の憩いの場等として活用。 	
〈参考〉民設民営ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・当該拠点づくりにより地域の魅力を高め、交流人口や県内消費を増加させるため民設民営ホテルの公募を検討。 	

(仮称)奈良県国際芸術家村における施設配置(案)について

○ (仮称)奈良県国際芸術家村の各施設の特徴等を踏まえ、現時点では以下の配置を検討。

④農村交流施設 及び ⑤伝統工芸施設

ホテルの宿泊者や来訪者に食事を提供する農家レストランは、ホテルに隣接した候補地北西の見晴らしの良い場所に配置。併せて関連のある農産物直売所・加工所や伝統工芸の展示即売施設を隣接して配置。

③情報提供施設(道の駅)、トイレ 及び ⑥サイクルステーション

国道25号から候補地内に入っすぐの物販・飲食施設に隣接する西側に配置。

○屋外広場 様々な文化・芸術イベントを開催。

連携してイベントを実施

○ホテル 南西に民設民営ホテルを誘致。

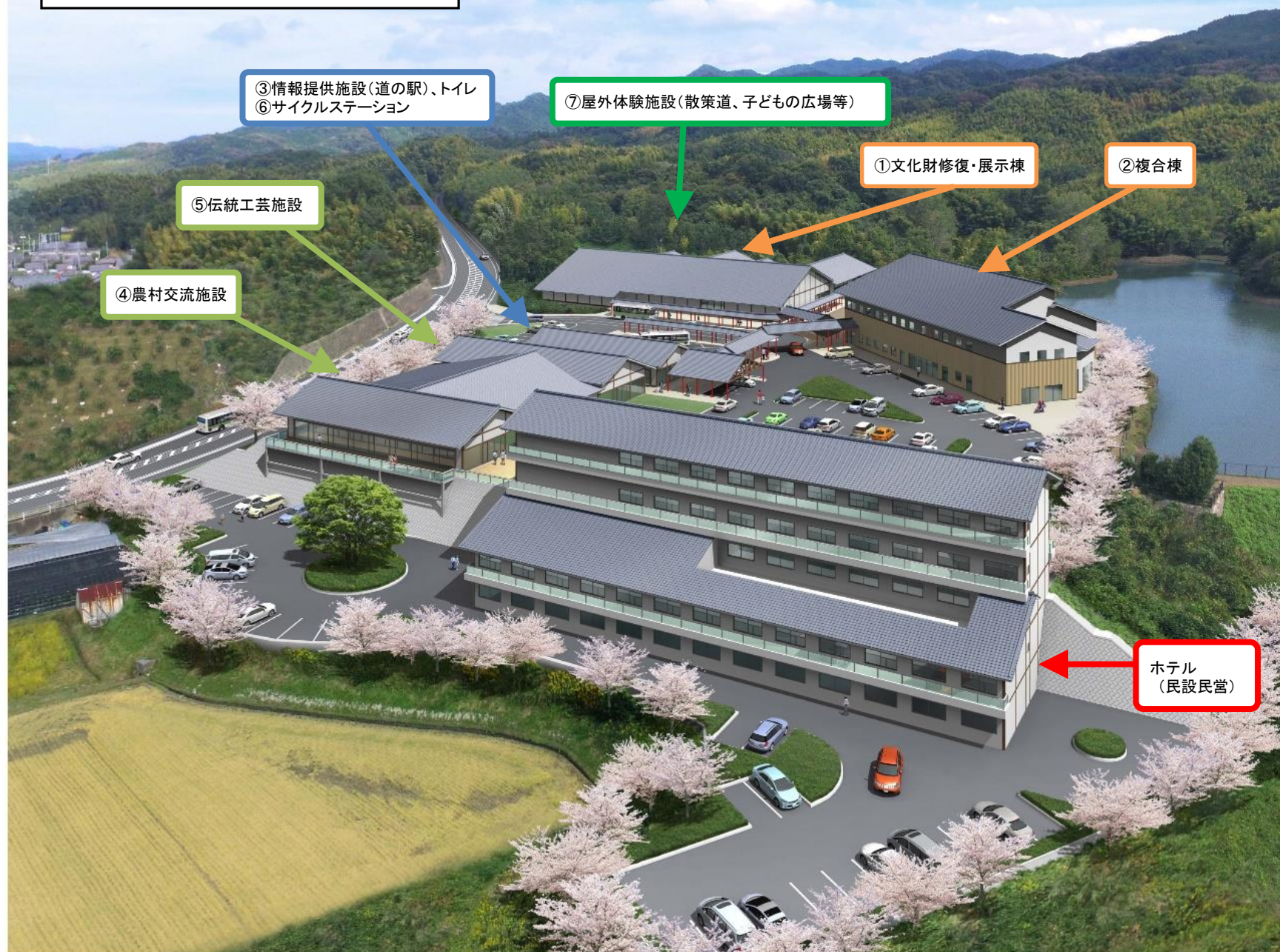
①文化財修復・展示棟 及び ②複合棟

県民や多くの来訪者が歴史文化資源に触れてもらえるよう、国道25号から候補地に入っすぐ東側のコミュニティバス(検討中)や観光バスの降車場に近接した場所に配置。

当該施設と関連した文化資源の交流拠点となる複合棟を近接して配置。ホテルとの動線も確保。

⑦屋外体験施設(散策道、子どもの広場等) 候補地東側の丘陵を活用。現代アートの展示空間や、散策道、展望台、郷土教育にも活用可能な体験場、子どもや家族連れで楽しむ空間を充実。

(仮称)奈良県国際芸術家村イメージ
(西側からの眺望)



③ 情報提供施設(道の駅)、トイレ
⑥ サイクルステーション

⑦ 屋外体験施設(散策道、子どもの広場等)

① 文化財修復・展示棟

② 複合棟

⑤ 伝統工芸施設

④ 農村交流施設

ホテル
(民設民営)

(仮称) 奈良県国際芸術家村イメージ
(南側からの眺望)



ホテル
(民設民営)

④農村交流施設

⑤伝統工芸施設

③情報提供施設(道の駅)、トイレ
⑥サイクルステーション

⑦屋外体験施設(散策道、子どもの広場等)

②複合棟

①文化財修復・展示棟

(仮称)奈良県国際芸術家村整備スケジュール(案)について

- (仮称)奈良県国際芸術家村については、今年度基本計画を策定後、造成や建築の設計・工事に取り組み、平成32年度中の完成を目指す。
- 現時点の概算事業費は約95億円程度を想定。今後、実施設計等を経て規模等の詳細を決定し、事業費を精査。

事 項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
計画策定	基本計画策定				
国際芸術家村構想等検討委員会	◇第4回(6/29)	◇第5回(11/9)			
議会関係		◇事前説明(11月中旬～下旬) ◇12月議会報告			
施設建設関係		用地買収・造成設計・工事			
			建築設計・工事		

国際芸術家村の各施設の機能・規模等について11月9日の検討委員会で承認を得て、12月議会に報告。
候補地用地の取得や造成工事など関係予算について国庫(地方創生拠点整備交付金)を活用し、12月議会に上程を予定。

概算事業費 約95億円程度